

平成26年度
公民館事業状況及び各館事業評価

平成26年度公民館 事業状況

1 施設の利用状況

単位：回/人

公民館	回数	人数
上尾	3,801	56,563
上平	3,794	56,681
平方	1,877	25,840
原市	2,615	34,799
大石	3,363	52,117
大谷	3,548	52,609
合計	18,998	278,609

2 主催事業

単位：事業(上段)/人(下段)

公民館	学習機会の提供							成果の活用	合計
	きっかけを作る学び					連携・協働した学び	地域に向き合う学び		
	伝統文化歴史	芸術	健康スポーツ	生活	世代別				
上尾	4	2	1	1	5	1	1	4	19
	385	80	53	154	337	82	112	1,587	2,790
上平	2	4	3	3	5	1	2	1	21
	141	286	203	82	1,222	58	209	1,406	3,607
平方	2	4	2	4	4	3	2	2	23
	106	212	91	80	106	180	125	1,082	1,982
原市	3	2	2	8	5	—	3	1	24
	232	180	81	356	553	—	342	1,022	2,766
大石	3	1	1	6	8	1	3	2	25
	149	61	72	282	502	40	114	3,655	4,875
大谷	3	3	3	10	3	2	4	1	29
	176	286	195	343	656	45	173	1,132	3,006
								合計	141
									19,026

平成26年度 上尾公民館 事業評価

目標・目的

市民一人一人が自分の生き方の模索や自己実現を図り、心豊かな人生をおくるための生涯学習の推進に取り組みます。また、生きがいの発見や豊かな人間形成の手助けなどで、それぞれの世代の要求に応えられるさまざまな学習の機会や場の充実を図ります。

<評価>

- A 適切に実施され、成果が得られている
- B 課題はあるが、ある程度の成果は得られている
- C 課題があり、成果があまりない

情報提供	評価	B
事業名	事業のねらい・内容	
情報収集・情報提供	生涯学習事業の普及・啓発を目的として、生涯学習の情報を求める市民に対し、サークルの情報等を提供した。	

学習機会の提供

きっかけを作る学び	評価	B
事業名	事業のねらい・内容	
■伝統文化・歴史		
郷土の歴史を知る講座	郷土の歴史について市民が親しみを持つことを目的とし、上尾にまつわる信仰・民俗・人物について様々な資料を通して学ぶ「郷土の歴史を知る講座」を開催した。	
伝統文化に親しむ講座～能・写経・煎茶～	伝統文化の奥深さを感じることを目的とし、能・写経・煎茶について学ぶ講座を開催した。それぞれの歴史を学ぶ講義と、実際の体験活動を通して伝統文化の理解を深めた。	
「ミニ門松作り」教室	日本の文化に親しみを持つことを目的として、ミニ門松作り教室を開催した。門松の由来を学んだ後、実際に門松を作ることで、より日本文化に親しみや興味・関心を持つことができた。	
文学講座～もう一度受けたい授業～	文学についてより興味・関心を持つことを目的とし、学生時代に学んだ文学を振り返る、または学生時代は戦争のため学習できなかった世代へ文学を学ぶための講座を開催した。今回は”戦争”をテーマにし、「火垂るの墓」「野火」「黒い雨」の3作品を取り上げた。	
■芸術		
楽しむ木版画～ひと彫りに想いを込めて～	芸術活動の楽しさを実感することを目的とし、木版画の体験講座を開催した。木版画の基礎を学んだ後、彫りと刷る作業を参加者それぞれが行い、暑中見舞いのハガキを完成させた。	
彫紙アート体験教室	芸術活動の楽しさを実感することを目的とし、彫紙アートでクリスマスカードなどを作製する体験教室を開催した。洋紙を何重にも重ねて彫る「彫紙アート」という新しい技法を通して、芸術活動への興味・関心を高めた。	
■健康・スポーツ		
インスパイリングエクササイズ教室	健康的な生活を意識するきっかけ作りとして、インスパイリングエクササイズの教室を開催した。肩甲骨・股関節・骨盤まわりのストレッチや、美しい立ち姿や歩きのエクササイズ等を学び、体の内側を刺激した身体づくりを学んだ。	
■生活		
終活講座	心豊かで充実感ある人生を送るための学習のきっかけ作りとして、自分の理想的な人生の最期を迎えるための事前の準備の方法等を学ぶ、「終活講座」を開催した。	
■世代別事業		
夏休み子ども教室	青少年教育として、創作の楽しさを学ぶことを目的とし、夏休みに絵画・造形・料理についてそれぞれ学ぶ子ども向け教室を開催した。教室を通して、市内の他の学校の生徒との交流を促す側面もある。	
親子へら鮎釣り教室	家庭内でのコミュニケーションの促進を目的とし、親子へら鮎釣り教室を開催した。釣り方を指導員から学び、親子で釣りを楽しむことで世代間の交流を促した。	
ふるさと学級	高齢者が日々の生きがい・新しいことへの興味関心を持つきっかけ作りとして、高齢者を対象にした連続講座を開催した。話し方や人権、歌などの講座を企画し、参加者同士の交流を深めることができる機会を提供した。	

連携・協働した学び		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
薬科大出前講座	健康について正しく理解することを目的とし、より専門的・高度な学習を提供するため、日本薬科大学と共催で講座を開催した。最終日は実際に日本薬科大学で漢方薬を調合し煎じ、専門の大学でなければならない学習を体験できた。		

地域に向き合う学び		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
異文化探訪～第1回ロシアを知ろう～	多文化共生への関心を高めることを目的とし、日本とは異なる国の言語や歴史・文化・料理などを学ぶ講座を開催した。今回はロシアをテーマとし、ロシア語や日本との歴史、料理について学んだ。		

団体の支援		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
サークル・団体の立ち上げ	生涯学習活動に興味を持った市民が円滑に続けることが出来るよう、活動に対する相談や団体の立ち上げの支援を行った。		
活動拠点の提供	市内の生涯学習団体が継続して活動を行えるようにするため、公民館を団体の活動の場として提供するとともに、適切な運営・管理を行った。		

成果の活用		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
第38回上尾公民館まつり	上尾公民館で活動する団体の成果を活かす場を提供するため、上尾公民館まつりを開催した。日頃の成果の発表の場であるとともに、地域の交流の場としても有効である。		
第45回 上尾市俳句大会	俳句を通して市民や団体のより活発な創作活動を支援するため、俳句大会を開催した。		
第38回 上尾市新春囲碁大会	囲碁を愛好する市民や団体の交流と親睦を図り、より活発な活動を支援するため、囲碁大会を開催した。		
第23回 上尾市新春将棋大会	将棋を愛好している市民や団体が将棋を通して親睦を深めると共に、日頃の成果を発揮する場を支援するため、将棋大会を開催した。		

総合評価		A
成果		
生涯学習のきっかけとなる機会提供のため、各分野・各年代に向けての講座を企画実施できた。平成26年度は特に、歴史を知ってから体験する「伝統文化に親しむ講座」、言語だけでなく文化・歴史・料理などからその国を学ぶ「異文化探訪」、まだ新しい分野の芸術だが上尾市の公民館の中で初めて取り上げた「彫紙アート」など、新たな形の講座に取り組んだ。		
課題		
講座・大会・公民館まつりなど、どの分野にも共通して見られるのが「利用団体・利用者の高齢化」だと思われる。今後は今まで利用の少ない年代への普及・啓発への取り組みに力を入れていく必要がある。		

平成26年度 上平公民館 事業評価

目標・目的

市民一人一人が自分の生き方の模索や自己実現を図り、心豊かな人生をおくるための生涯学習の推進に取り組みます。また、生きがいの発見や豊かな人間形成の手助けなどで、それぞれの世代の要求に応えられるさまざまな学習の機会や場の充実を図ります。

<評価>

- A 適切に実施され、成果が得られている
- B 課題はあるが、ある程度の成果は得られている
- C 課題があり、成果があまりない

情報提供

評価

B

事業名	事業のねらい・内容
情報収集・情報提供	生涯学習事業の普及・啓発を目的として、生涯学習の情報を求める市民に対し、サークルの情報を提供した。

学習機会の提供

きっかけを作る学び

評価

B

事業名	事業のねらい・内容
■伝統文化・歴史	
詩吟教室～日本の伝統芸能を楽しもう～	伝統芸能の奥深さなどを感じ取ることを目的とし、日本の伝統芸能の詩吟を体験しながら親しむ。音楽の要素に加え、ストレッチ運動、腹式呼吸で心と体の健康増進に役立つよう開催した。
徒然草を読む～無常を生きる知恵～	古典文学に興味や関心を持つことを目的とし、誰もが学生時代に学習したことのある古典の三大随筆の一つ「徒然草」を紐解くことにより、その神髄に触れ、深く豊かな人生観を学ぶ講座を開催した。
■芸術	
初めての似顔絵教室～楽しい似顔絵を描こう～	芸術活動の楽しさを実感することを目的とし、似顔絵を暮らしの中で様々な活用する体験教室を開催した。日々の生活に楽しみが広がり、工夫ひとつで毎日をどんどん楽しくすることができることを学んだ。
西村くんとタカシくんLOVEコンサート	人と人の結びつき、家族の大切さなどを感じ取ることを目的とし、震災を忘れない震災コンサート巡りなどの経験を生かし歌とメッセージにて多くの方の心に響く時間を作り、気楽に参加して人の輪を広げることができた。
クラシックの名曲を楽しむコンサート	芸術を通じた地域交流を図ることを目的とし、気軽に音楽を鑑賞できる場を提供し、地域の方々とふれあいと楽しいひと時を目的とするコンサートを開催した。
カラー粘土教室～素敵な作品を作ろう～	芸術活動の楽しさを実感することを目的とし、カラー粘土の技術を習得し、手のリハビリをしながら作る楽しさを味わう。
■健康・スポーツ	
スポーツ吹矢体験教室	健康の維持増進を目的とし、背筋を伸ばしたり、腹筋を使うなど普段使わない筋肉を使い腹式呼吸をして手軽にできる健康法「スポーツ吹矢」の基礎を体験する講座を開催した。
笑いヨガと健康講座 笑いで心と体を鍛えよう！“笑って幸せに”	笑いで心と体を鍛え、人間関係を豊かにすることを目的とし、生活に必要な筋肉を向上させる効果的なトレーニングを学び、健康増進の維持をする。
骨盤体操	健康的な生活を意識することを目的として、日常生活の何気ない仕草で歪んだ骨盤を矯正する体操を行う。骨盤を正しい位置に戻すことで代謝率を上げ、心身ともにリフレッシュする講座を開催した。
■生活	
家族の健康料理教室～和食を楽しもう～	自らの食について考える習慣や、様々な知識を身に付けることを目的として、日本の伝統的食文化である「和食」を楽しみながら調理し味わう。併せて、日頃の食生活を見直すきっかけづくりとした。
ペーパードリップ珈琲入門	普段何気なく飲んでいる珈琲の奥深さや知識を深めることを目的とし、コーヒー研究家の手ほどきを受け、美味しいドリップ珈琲の淹れ方を体験し知識を深める。
手芸教室～タオル人形を作ろう～	手芸を通して、作る喜びを感じると共に親睦の輪を広げることを目的とし、身近なタオルを利用して、タオルハンガーと人形を作る喜びを感じてもらおう。

■世代別事業	
親子で楽しくリトミック	音楽や造形などの表現創造活動を通して喜びを味わい、親子のスキンシップを大切さ、お友達とコミュニケーションする楽しさを学ぶことを目的とし、音楽に合わせて、指や手・体の動きをリズムに乗って表現するリトミック教室を開催した。
夏休み子どもねん土教室	子どもの造形や想像力を養うことを目的に、粘土をこねて丸める楽しさや、物を作る面白さを体験するとともに、タイの伝統工芸の魅力も味わう。
親子木工教室～木のぬくもりにふれよう～	工作の楽しさや面白さを体験し創造力を養うことを目的とし、木のぬくもりを感じる木工工作の教室を開催した。夏休みの親子の触れ合いの場として、コミュニケーションの促進に資する。
子ども書道教室～これで書初めはバッチリ～	文字を正しく整えて、読みやすく、丁寧に書くことを大切にする心情を育むことを目的とし、書初めの練習会と位置付けて実施した。
いきいき教室～笑顔と元気の輪を広げよう～	「健康で心豊かな生きがいのある生活」の達成を目的とし、高齢者を対象に各種の講座を開催し、和気あいあいと楽しみながら学ぶ。

連携・協働した学び		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
さあ！携帯電話からスマホ・デビューへ（ソフトバンクモバイル出前講座）	スマートフォンの基本操作から安全な利用方法までを学び理解してもらうことが目的とする。スマートフォンの基本操作、インターネットの検索の仕方からアプリの使い方など、実際のスマートフォンを使って体験する。		

地域に向き合う学び		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
初心者のための海外旅行英会話	異文化への関心を高めることを目的とし、海外旅行で起こりうる場面等を設定し、実践的な英会話を学ぶ講座を開催した。海外旅行で必要な英会話を外国人講師の本物の発音に触れ、楽しく学ぶ。		
人権講座「法に守られた私たちの人権」	自らの人権についての意識を高めることを目的とし、さまざまな人権問題について学習し、人権尊重と差別の解消について理解を深める。		

団体の支援		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
サークル・団体の立ち上げ	生涯学習活動に興味を持った市民が円滑に続けることが出来るよう、活動に対する相談や団体の立ち上げの支援を行った。		
活動拠点の提供	市内の生涯学習団体が継続して活動を行えるようにするため、公民館を団体の活動の場として提供するとともに、適切な運営・管理を行った。		

成果の活用		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
第30回上平公民館まつり	公民館を利用しているサークルが1年の学習成果を活かす場として提供するため、上平公民館まつりを開催した。日頃の成果を展示、発表し、互いに啓発し合うとともに、地域住民とのふれあいの場とした。		

総合評価		評価	A
成果			
生涯学習のきっかけとなる機会提供のため、各分野・各年代に向けての講座を企画実施した。平成26年度は、震災コンサート巡りなどの経験を生かしたコンサートや初めて似顔絵講座を開催した。また、音楽鑑賞や伝統文化、文学に触れる講座、粘土教室のように高齢者には手のリハビリに、子供には物を作る面白さなど体験型の講座を取り入れた。			
課題			
今後、利用団体や利用者に共通していることが高年齢化で、全体の年齢層が高くなっている。公民館まつりなどに参加する団体が高齢化で参加しなくなっているなど、切実な問題であると思う。今後、若い年齢層への啓発や講座の取り組みなどに力を入れていく必要がある。			

平成26年度 平方公民館 事業評価

目標・目的

市民一人一人が自分の生き方の模索や自己実現を図り、心豊かな人生をおくるための生涯学習の推進に取り組みます。また、生きがいの発見や豊かな人間形成の手助けなどで、それぞれの世代の要求に応えられるさまざまな学習の機会や場の充実を図ります。

<評価>

- A 適切に実施され、成果が得られている
- B 課題はあるが、ある程度の成果は得られている
- C 課題があり、成果があまりない

情報提供

評価

B

事業名	事業のねらい・内容
情報収集・情報提供	生涯学習事業の普及・啓発を目的として、生涯学習の情報を求める市民に対し、サークルの情報等を提供した。

学習機会の提供

きっかけを作る学び

評価

A

事業名	事業のねらい・内容
■伝統文化・歴史	
歴史散歩	平方地区の歴史を学び、地区の理解と愛着を深めることを目的とし開催した。公民館講座室で歴史と文化についての講義の後、公民館周辺の文化財を訪ね歩いて学んだ。
古典落語講座	日本の伝統的な話芸である古典落語を聞く機会を提供するとともに、その噺の背景にある江戸時代の庶民の生活と暮らしを知ることを目的に開催した。江戸庶民の生活と暮らしの講話を間に挟み、本職の噺家の生の落語2席を楽しんだ。
■芸術	
やさしい水墨画	作品作りの楽しさと、墨の濃淡で表現する水墨画の魅力を体験することを目的に開催した。水墨画の基本を学び、草花などの書き方の練習後、はがきに羊を描き年賀状を作成した。講座終了後サークルを発足し、活動を続けている。
写真川柳と平方フォト川柳大会	より多くの人が川柳に挑戦し、親しむ機会とするために、写真を題材にした川柳(未発表)を募集し、川柳講座を開催した。応募作品はロビーに掲示し、来館者にも楽しんでいただいた。
彫紙アートの世界	紙の配色や枚数で印象が変わる新しい芸術「彫紙アート」の魅力を体験することを目的として開催した。バレンタインメッセージカード等3作品を作成した。
秋のコンサート	生の楽器演奏を身近な場所で聴く機会を提供するために開催した。ピアノとオカリナの演奏の他、民話の影絵に合わせたオリジナル曲の演奏などを楽しんだ。
■健康・スポーツ	
ヨガストレッチダンス教室	老化に負けない元気な体の作り方を学ぶことを目的とし、筋肉をのばし身体をほぐし体のケアを十分にしてからスペイン民謡セビジャーナスの曲でダンスを踊る。教室終了後、希望者でサークルを発足し、活動を続けている。
パドル体操	健康意識を高め、生活習慣病・腰痛・肩こり予防を目的として開催した。パドル(しゃもじ型健康補助具)を使い、音楽に合わせて楽しく踊りながら体を動かした。講座終了後サークルを発足し活動を続けている。
■生活	
寄せ植え教室	生活に潤いを与え、身近に植物を置く楽しさを知ることが目的に、初夏の植物を使い夏向けの寄せ植えを作成した。
布ぞうりを作る	リサイクル意識の向上のために、捨てるには「もったいない」Tシャツや浴衣を使って、素足にも履き心地の良い布ぞうりを作成した。
山菜おこわとコバトン健康メニュー	健康的な食生活へ見直すことのきっかけとして、バランスの良い献立の和食を学び、蒸して作る本格的な山菜おこわ、厚揚げのきのこあんかけなどの作り方を学んだ。
暮らしとお金について学ぶ講座	高齢化社会が加速する中、「自分でお金を守る時代」のライフプランについて考えることを目的に、年金・保険・介護・相続・遺言について学んだ。

■世代別事業	
夏休み子ども押し花アート	小学生を対象に夏休みを利用し、作品作りの楽しさを体験し創造力を養うこと、他校及び異学年の児童との交流を図ることを目的に開催した。Tシャツに押し花をデザインし、アイロンプリントしたオリジナルのTシャツを作成した。
スパイス工場見学とカレー作り教室	小学生を対象に夏休みを利用し、スパイスについて学び、他校及び異学年の児童との交流を図ることを目的に開催した。平方地区内にあるスパイス工場を見学した後、カレーとナンの調理をした。
夏休み親子でお点前（茶道）体験	日本古来の伝統文化を学び、家族の絆を強めることを目的とし、「夏休み親子でお点前（茶道）体験」を開催した。親子で茶道の作法とお点前を体験した。
たちばな学級	高齢者が生涯学習を通し、知識の向上と参加者の親睦を深めるとともに、いきいきとした快適な暮らしに役立てることを目的に開催した。7回の連続講座で、防災の危機対応、人権や歌などの講座のほか、平方小学校児童との交流会を実施した。

連携・協働した学び		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
パソコン教室（入門編）	県立上尾橋高等学校の協力を得て、パソコンの基本操作を習得することを目的に開催した。ワードコースは文字入力、文章作成、図表画像の挿入など、エクセルコースは表計算、関数の使い方、グラフ作成などを学んだ。		
日本薬科大学・平方公民館共催健康講座	「健康」をテーマに正しい知識を得ることを目的に、日本薬科大学と共催で開催した。「毒に関する話ー危険ドラッグも含めて」「身近な薬局の活用術」について学んだ。		

地域に向き合う学び		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
拉致問題人権講座	拉致問題を通して人権意識を高めることを目的に開催した。DVD「拉致 私たちは何故気づかなかったのか！」の視聴後、「一日も早い解決のために」の演題で北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表の飯塚繁雄さんの講演を行った。		
海外旅行初心者のためのトラベル英会話	多文化共生の意識向上として、海外旅行初心者向けに、旅行で役に立つ英会話を楽しく学ぶ機会を提供した。旅行中に起こりうるシチュエーションを通して、どのように会話がなされていくのか、実際にスキットを展開しながら、また、歌やゲームを交えて学んだ。		

団体の支援		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
サークル・団体の立ち上げ	講座終了後も続けて学習を希望する方々に、サークル立ち上げの支援を行った。		
活動拠点の提供	サークル・グループが継続して活動できるよう、活動の場を提供した。		

成果の活用		評価	A
事業名	事業のねらい・内容		
第29回平方公民館文化祭	平方公民館で活動するサークルの学習成果を発表する場を提供するために、平方公民館文化祭を開催した。展示発表・ステージ発表・調理品の販売のほか、平方小学校の児童にも合奏を発表していただき、地域の交流も図った。		
文化祭特別企画コンサート「歌と踊りのフェスタ」	文化祭の締めくくりに、平成25年度に講座終了後に結成されたサークルの紹介と発表を兼ね開催した。「NOSS(和のフィットネス)」の発表と、日本舞踊とソプラノ歌手とのコラボレーションで楽しんでいただいた。		

総合評価		評価	A
成果			
多分野にわたり事業を企画・実施できた。講座終了後、3サークルが発足し、活動を継続している。			
課題			
利用者の高齢化が進み、サークルの存続や、文化祭の運営が難しくなっている。また、平方地区在住の方の事業への参加が少ないので、事業内容の見直しや、事業の周知方法を検討する必要がある。			

平成26年度 原市公民館 事業評価

目標・目的

市民一人一人が自分の生き方の模索や自己実現を図り、心豊かな人生をおくるための生涯学習の推進に取り組みます。また、生きがいの発見や豊かな人間形成の手助けなどで、それぞれの世代の要求に応えられるさまざまな学習の機会や場の充実を図ります。

<評価>

- A 適切に実施され、成果が得られている
- B 課題はあるが、ある程度の成果は得られている
- C 課題があり、成果があまりない

情報提供

評価

A

事業名	事業のねらい・内容
情報収集・情報提供	生涯学習事業の普及・啓発を目的として、生涯学習の情報を求める市民に対し、サークルの情報等を提供した。

学習機会の提供

きっかけを作る学び

評価

A

事業名	事業のねらい・内容
■伝統文化・歴史	
和裁にチャレンジ！～ゆかたを縫おう～	日本の伝統に親しみを持つことを目的とし、着物の楽しさ、着ることだけでなく、仕立てる喜びや、針仕事の面白さを体験し、自分の気に入った反物で、夏祭りまでにゆかたを縫い上げる和裁講座を開催した。
いけばな教室～花のある日常で心に潤いを～	日本の伝統に興味・関心を持つことを目的として、生花教室を開催した。華道の基本、花の組み合わせやバランスのとり方などを学び、季節感や素材感をいかして、お正月の花を生けた。
文学講座	日本文学により親しみを持つことを目的とし、文学講座を開催した。漱石ゆかりの地を映像と講師の講話で巡り、身近に感じてもらい、文学散歩と、「坊ちゃん・こころ」を読み解く。
■芸術	
秋のコンサート～日本のうた～	音楽をより身近に感じてもらうため、生のソプラノ歌手と伴奏者によるコンサートを開催した。「日本のうた」をテーマとして、日本人の哀愁・切なさ・温かさをコンサートを通じて感じた。
■健康・スポーツ	
気功でイキイキ！	健康の維持増進を目的として、中国伝統の健康法である導引養生功を学び、ゆったりした動作、腹式呼吸で健康の維持を目指す。
健康ウォーキング教室	日々の健康意識の向上を目的とし、運動不足を解消し、心身の病気予防を目的に、正しい姿勢でウォーキングの仕方や健康について学び生活習慣病の予防に役立て健康長寿を目指す。
■生活	
絵手紙体験教室	心豊かで充実した生活を送るため、絵手紙講座を開催した。季節の草花や野菜、果物などを画材に絵手紙の基本を学び、心を伝える手紙を描く楽しさを体験した。
50代からのメイクアップ教室	地域の女性たちが、より生き生きとした人生を送ってもらうため、メイクアップ教室を開催した。自分に似合うカラーを見つけ、若返りメイクを学んだ。
デジタル一眼レフカメラ教室	心豊かで充実した生活を送るため、初心者にもわかりやすく、デジタル一眼レフカメラの基本操作と撮影のコツを学んだ。
手作りパン入門教室～幸せを運ぶ焼き立てパン～	家庭で手作りする料理の楽しさを感じてもらうため、手作りパンの教室を開催した。手ごねパンを一人ずつ作り、美味しさを実感する。
パッチワーク教室～世界に1つだけのトートバック～	物作りの楽しさを実感してもらうため、パッチワーク教室を開催した。トートバックを作り、手作りの温かみを感じながら自分だけのオリジナル作品を制作した。
写経教室	生きがいのある人生を送るきっかけとして、写経教室を開催した。経文を書き写すことで、心を落ち着けて日常生活をもう一度見つめ直すことができた。
ペン字教室～美文字で心を伝える年賀状～	生きがいのある人生を送るきっかけとして、ペン字教室を開催した。ペン字の基本を学び、心のこもった自筆の年賀状を完成させた。

おもてなし料理～ランチで楽しいひとときを～	プレーンキッシュ、アメリカンサラダ、鶏肉の塩麹焼き、りんごの白ワイン煮を作り、家族や友人とのおもてなしランチを学んだ。
■世代別事業	
夏休み子ども教室	子どもたちの創作力や想像力、判断力、根気強さ、集団行動力などを養うため、夏休みに子どもを対象にした教室を開催した。飛び出すカード、紙ヒコーキ、ちぎり絵、折り紙で「こま」など作るなどを行った。
平成26年度「原市ことぶき学級」	高齢者が地域社会の中で、楽しみながら健康長寿で充実した生活ができるよう、体操・歌・人権などを学習する機会を提供した。

連携・協働した学び	評価	—
事業名	事業のねらい・内容	
なし		

地域に向き合う学び	評価	A
事業名	事業のねらい・内容	
原市日本語教室	多文化共生の一環として、外国籍市民に、日本で生活するうえで、困らないように、日本語ボランティアによる実践的な会話を学ぶ講座を開催した。	

団体の支援	評価	A
事業名	事業のねらい・内容	
サークル・団体の立ち上げ	講座・教室終了後、市民が継続的に活動できるよう、サークル化の助言・支援を行った。平成26年度は、「フォトクラブ葉月」・「いけばなサークルひつじ会」の2つがサークル化した。	
活動拠点の提供	地域活動拠点として、老若男女問わず、継続して活動ができるよう、支援し、管理・運営に努めている。	

成果の活用	評価	A
事業名	事業のねらい・内容	
第27回原市公民館祭り	原市公民館で活動するグループが日頃の学習・練習成果を発表するとともに、来場者ら地域住民との交流を深める。	
原市サマーコンサート～オカリナの調べ～	芸術をより気軽に楽しんでもらうため、また、原市公民館サークルの「オカリナ倶楽部クローバー」結成20周年を記念し、生の音楽（オカリナの調べ）を楽しんでもらうコンサートを開催した。	

総合評価	B
成果	「日本の伝統文化を思い起そう」をテーマに講座を開設し、2年目となる。26年度は和裁・いけばなを実施し、改めて日本の良さを噛みしめた。また、新しい講座として、子育ての終わった女性を対象に自分に目を向けようと「50代からのメイクアップ教室」をはじめ、デジタル一眼レフカメラの専門分野、写経など幅広く取り組んだ。
課題	高齢化社会の中、大変元気な高齢者の方の利用が多いが、40代・50代の方や子育て世代の夫婦に多く参加していただく講座など、公民館の活性化を図っていくことが大切。

平成26年度 大石公民館 事業評価

目標・目的

市民一人一人が自分の生き方の模索や自己実現を図り、心豊かな人生をおくるための生涯学習の推進に取り組みます。また、生きがいの発見や豊かな人間形成の手助けなどで、それぞれの世代の要求に応えられるさまざまな学習の機会や場の充実を図ります。

<評価>

- A 適切に実施され、成果が得られている
- B 課題はあるが、ある程度の成果は得られている
- C 課題があり、成果があまりない

情報提供

評価

B

事業名	事業のねらい・内容
情報収集・情報提供	生涯学習事業の普及・啓発を目的として、生涯学習の情報を求める市民に対し、サークルの情報等を提供した。

学習機会の提供

きっかけを作る学び

評価

B

事業名	事業のねらい・内容
■伝統文化・歴史	
歴史講座「上尾の原始・古代」	身近な歴史に関心を持ってもらうことを目的に、上尾市内・埼玉県内の発掘調査の成果をもとに、上尾の原始・古代を学んだ。上尾市に愛着を持つきっかけづくりになった。
文学講座～秋の夜長に読書に親しむ～	書物は人生に大きな喜びと知識を得るかけがえのないものである。読書の楽しさを認識してもらうことを目的に、文学講座を開催した。26年度は山崎豊子の「大地の子」を取り上げた。
初心者・レディース囲碁教室	認知症予防にも効果的と言われている囲碁に親しむきっかけづくりを目的に、囲碁の基本を基礎から学んだ。
■芸術	
ニューイヤーコンサート	新年を迎え、地域の方との親睦とふれあいの輪を広げることを目的に、心に響くピアノ演奏によるクラシックを中心にしたコンサートを開催した。26年度は市職員の荒井怜央さんのピアノの演奏を鑑賞した。
■健康・スポーツ	
インナーマッスル教室	ロコモティブシンドローム予防を目的に、高齢者にも無理のない動きでインナーマッスルを鍛えて基礎代謝を上げ、健康な身体を作ることを学んだ。
■生活	
多肉植物のリース作り教室	生活の中に植物を取り入れ、親しみを持つことを目的に、いろいろな種類の多肉植物を使ってリースを作り、育て方や増やし方なども学んだ。
木工小物入れ教室	普段木工を行うことが少ない女性に木工に親しんでもらうことを目的に、簡単な工具を使い、可愛いお道具箱を作成する講座を開催した。
カルトナーージュ教室	手先を使うことは脳にもよく、きれいなものを作成することは心にもよいことから、フランスの伝統的な手芸のカルトナーージュで、手軽な写真立ての作成を体験した。
実用筆ペン・ボールペン教室	日常生活をより豊かなものにするを目的に、暮らしの中で役立つ書を学んだ。熨斗袋の基本的な書き方や美しく見える年賀状の書き方などを学び、今までより美しい文字が書けることを喜びあった。
初心者とんぼ玉教室	ガラス棒を火であぶり、溶かして丸い「とんぼ玉」を作る基礎を学び、作品の出来上がりまでの工程を体験した。普段あまり体験できない工芸の面白さを知った。
■世代別事業	
子どもヒップホップダンス教室	子どもの全身を使った表現力の習得を目指し、ヒップホップダンスを気軽に体験してもらい基礎知識を学んだ。
夏休み子ども公民館体験	大石公民館で活動しているサークル会員と子どもの交流を図るため、サークル会員に夏休みの子どもの指導をしてもらった。①ひとりでゆかたを着て半幅帯を結ぶ。②基本的なスケッチと彩色を学ぶ。③楽しみながらパドミントン体験する。

夏休み子ども教室	子どもの想像力と知的好奇心を刺激することを目的とし、子ども教室を開催した。ねん土教室では、ねん土の感触や色を楽しみながら、カエルを製作し、完成した喜びを味わった。科学教室では小学生が夏休みを使い、モーター発電機から様々な発見を体験した。
親子飾り巻きずし教室	親子の交流を目的に、かわいい絵柄の巻きずし（にっこりアンパンマン、桃の花）を作る教室を開催し、楽しい時間を共有した。
若返り学級	高齢者が生きる力を高め、学ぶことを楽しめることを目的に、講話とレクリエーションを実施した。受け身な学習でなく参加型の要素を多く取り入れた。

連携・協働した学び	評価	A
事業名	事業のねらい・内容	
みんなで楽しくエコライフ（東京ガス出前講座）	環境問題への気づきの場として、近年関心の高まっているエコライフをテーマにして身近な食と生活について考える機会を提供した。	

地域に向き合う学び	評価	A
事業名	事業のねらい・内容	
多文化料理教室	国際理解を目的に、多文化料理を学んだ。①中国（雲南省）の家庭料理である米線（ミーシャン）を中心に料理法を学んだ。②ブラジル南東部リオデジャネイロ州の家庭料理を学んだ。	
コミュニティ人権講座 男女の対等なパートナーシップをめざして	人権について意識を高めることを目的に、DVについて知識を広め、男女が共に安心して暮らしていけるにはどうすればよいかを学んだ。	

団体の支援	評価	A
事業名	事業のねらい・内容	
サークル・団体の立ち上げ	生涯学習活動に興味を持った市民が、円滑に続けることができるよう、活動に対する相談や、講座後のサークル化を支援をした。	
活動拠点の提供	市内の生涯学習団体が継続して活動を行えるようにするため、公民館を団体の活動の場として提供するとともに、適切な運営・管理を行った。	

成果の活用	評価	A
事業名	事業のねらい・内容	
第24回大石公民館まつり	日頃の公民館活動成果を発表する機会と大石地区コミュニティー推進協議会に集う地域団体の啓発の場として開催した。	
みどりのコンサート	より活発な活動を支援するため、当公民館で活動している音楽サークルが日ごろの練習の成果を発表するコンサートを開催した。	

総合評価	評価	A
成果	現代的課題である高齢化や、国際化、人権・環境問題などに対し、高齢者の「若返り学級」、「コミュニティ人権講座」、国際理解のための「多文化料理教室」を実施した。環境問題としては、「みんなでたのしくエコライフ」を実施した。人気の定番講座から新規講座まで意欲的に取り組み、参加者から好評をえた。	
課題	小さな子どもと保護者を対象とした事業では車での来場者が多いため、駐車場不足で近隣店舗とのトラブルを防ぐため同じような対象の事業が重ならないようにするなどの配慮が必要である。中・高・大学生の利用が非常に少ないので、地域の大人との交流が図れるような事業も取り入れたい。	

平成26年度 大谷公民館 事業評価

目標・目的

市民一人一人が自分の生き方の模索や自己実現を図り、心豊かな人生をおくるための生涯学習の推進に取り組みます。また、生きがいの発見や豊かな人間形成の手助けなどで、それぞれの世代の要求に応えられるさまざまな学習の機会や場の充実を図ります。

<評価>

- A 適切に実施され、成果が得られている
- B 課題はあるが、ある程度の成果は得られている
- C 課題があり、成果があまりない

情報提供

評価

B

事業名	事業のねらい・内容
情報収集・情報提供	生涯学習事業の普及・啓発を目的として、生涯学習の情報を求める市民に対し、サークルの情報等を提供した。

学習機会の提供

きっかけを作る学び

評価

B

事業名	事業のねらい・内容
■伝統文化・歴史	
文学講座～もう一度受けた授業～ 短いけどキラッと光る詩・短歌・俳句・小説	文学により興味・関心を持つことを目的とし、学生時代に学んだ短歌・俳句・小説を再び学び、楽しむために寺山修司・正岡子規などを取り上げ講座を開催した。
大谷歴史散歩	市民が郷土の歴史に興味・関心を持つことを目的とし、大谷地区の歴史を学ぶと共に、大谷地区の史跡を探訪する講座を開催した。
着物で粋に初詣(初心者着付教室)	日本の伝統文化を再認識することを目的とし、着物の着付教室を開催した。着付の基礎や、普段着から外出着までの着方を学び、日本文化に親しみ、更に興味・関心を高めた。
■芸術	
水墨画を楽しむ	芸術活動の楽しさを実感することを目的とし、水墨画教室を開催した。かすれ、にじみなどの水墨画の基礎を学び、その後、季節の花や野菜、風景などを描いた。
かわいいオカリナで演奏を楽しもう	芸術の楽しさを知り、楽器に愛着を持つことを目的とし、オカリナ教室を開催した。素焼きのオカリナに絵を描き、オリジナルのオカリナを作成したうえで、基礎から演奏を学んだ。
大谷新春コンサート～フルートの調べ～	音楽に触れ親しむことを目的とし、新春コンサートを開催した。フルートとピアノによる演奏を楽しみ、芸術への興味・関心を高めた。
■健康・スポーツ	
ストレス解消講座～軽体操でリフレッシュ～	日々のストレスを解消し、健康を維持することを目的とし、ストレッチなどの軽体操の教室を開催した。タオルを使ったマッサージやペットボトルのダンベルを使ったストレッチ体操など、身近にあるものを利用したストレス解消運動を学んだ。
初めてでも大丈夫！ゆる～い・やさしいヨガ	健康意識を高め、無理のない運動を学ぶことを目的とし、ヨガのゆっくりとしたやさしい動きを学ぶ、ヨガ教室を開催した。仕事をしている方達も参加できるような夜間開催とした。
からだ温め講座～寒さを気功で吹き飛ばそう～	自己免疫力や治癒力の向上を図ることを目的とし、気功教室を開催した。胡弓の音楽に合わせ、心身をリラックスさせながら中国伝統の健康法である気功を学んだ。
■生活	
弁護士がやさしく教えるくらしの法律Q&A	身近にあるトラブルの解決方法などを学ぶことを目的とし、法律講座を開催した。日常生活の中で起こる予期せぬトラブルにどのように対応すればよいか、どのようなことに気を付ければよいかなどをQ&A形式で学んだ。
おしゃれな布ぞうりを作る	リサイクル意識を高めることを目的とし、古布を使った布ぞうり作りの教室を開催した。Tシャツや浴衣などの古布を使って自分だけの布ぞうりを作ることで、物を大切にすることを養い、リサイクルへの関心を高めた。
アロマセラピーを楽しむ講座	心豊かな充実した生活を送るため、アロマセラピー教室を開催した。ビューティケアやストレスケアなどに役立てるため、香り付きの石鹸やルームスプレーの製作や、手のマッサージ方法などを学んだ。
手作りパンでカフェメニュー	手作りの楽しさを知り充実した食生活を送るため、パンとランチメニューを作る教室を開催した。数種類のパンと、それぞれのパンにあうスープやデザートなどを作った。

毎日の食事で骨丈夫、腸元気、脳元気になる料理教室	毎日の食事から健康増進を図ることを目的とし、主に骨粗しょう症予防のための料理教室を開催した。骨を強くする食事や、料理をする時のコツなどを学びながら調理した。
はじめてのフラワーアレンジメント～基礎を学びましょう～	心豊かな充実した生活を送るため、フラワーアレンジメント教室を開催した。フラワーアレンジメントの基本や応用を学んだ。仕事をしている方達も参加できるよう夜間開催とした。
初めてのそば打ち体験	日本の食文化に触れることを目的とし、そば作りを基礎から学び体験するため、そば打ち教室を開催した。
野菜ソムリエが教えるクッキング	充実した食生活を送るため、調理方法のほか、野菜の知識を学ぶことを目的とし、野菜をテーマとした料理教室を開催した。野菜の見極め方、栄養価を損なわない調理法、旬の野菜を使った料理などを学んだ。
眠っている服が素敵に変身（リメイクソーイング）	リサイクル意識を高めることを目的とし、リメイクソーイング教室を開催した。洋服や着物などの古着をリメイクして、自分だけの作品を作ることで、物を大切にすることを養い、リサイクルへの関心を高めた。
手作りのパンとお菓子を作ってみませんか	手作りの楽しさ、焼き立てのパンやお菓子の美味しさを知り充実した食生活を送るため、パンとお菓子作りの教室を開催した。仕事をしている方達も参加できるよう夜間開催とした。
■世代別事業	
親子でフラダンス！～ママと一緒にフラガール～	子育て世代の交流の促進を目的とし、夏休みに小学生と保護者を対象としたフラダンス教室を開催した。フラダンスの基本姿勢や基本ステップ、課題曲を学び、フラダンスの楽しさを共有しながら子育て世代の交流を図った。
親子で楽しくクッキング	料理を作る喜びを親子で体験することを目的とし、夏休みに小学生と保護者を対象とした料理教室を開催した。親子で協力しコミュニケーションをとりながら、料理を作る楽しさを共有すると共に、参加した親同士、子供同士の交流を図った。
大谷いきいき学級	高齢者が生きがいを持ち健康で安全に生活を送るため、高齢者を対象とした連続講座を開催した。軽体操や防犯についての講座、コンサートなどを開催し、参加者同士の交流も図った。大谷地区いきいきクラブ連合会と共催で実施した。

連携・協働した学び	評価	A
事業名	事業のねらい・内容	
自分だけのランプを作ろう (パナソニック㈱エコソリューションズ社 出前授業)	モノづくりの楽しさを学ぶことを目的とし、夏休みに小学生を対象としたLEDランプを作る教室を開催した。ランプを制作することにより、モノづくりの楽しさを学ぶと共に節電意識を高め、他の学校の生徒との交流も図った。	
収納の工夫術 (パナソニック㈱エコソリューションズ社 出前授業)	快適な生活を送るため、収納の基礎や工夫を学ぶ教室を開催した。快適な収納は捨てることから、片付かない原因、収納の基礎などを学んだ。	

地域に向き合う学び	評価	B
事業名	事業のねらい・内容	
いま、地球環境は！？	環境問題への意識を高めることを目的とし、主に地球温暖化について学ぶ講座を開催した。地球温暖化の実態や影響、対策などについて学び、環境問題への関心を高めた。	
さあ始めてみよう～Adamと一緒に楽しい英会話～	自分の世界を広げ、異文化への関心を高めることを目的とし、英会話教室を開催した。仕事をしている方達も英会話を楽しく学べるよう夜間開催とした。	
いざという時に役立つ講座	防災意識を高めることを目的とし、今すぐできる防災対策や応急手当の方法、AEDの使い方などを学ぶ講座を開催し、防災への関心を高めた。	
人権問題を考える講座～東日本大震災から4年が経って～	人権問題への意識を高めることを目的とし、東日本大震災に伴う原発事故の風評による思い込みや偏見などについて考える講座を開催し、人権問題への関心を高めた。講座終了後、みんなで歌えるミニコンサートを開催した。	

団体の支援	評価	A
事業名	事業のねらい・内容	
サークル・団体の立ち上げ	生涯学習活動に興味を持った市民が円滑に活動ができるよう、活動に対する相談や団体の立ち上げの支援をおこなった。	
活動拠点の提供	市内の生涯学習団体が継続して活動できるようにするため、公民館を団体の活動の場として提供すると共に、適切な運営・管理をおこなった。	

成果の活用	評価	A
--------------	----	----------

事業名	事業のねらい・内容
第22回大谷公民館まつり	大谷公民館で活動する団体の活動の成果を発表する場として、大谷公民館まつりを開催した。日頃の活動の成果を発表する場であると共に、サークル間や地域住民との交流の場にもなっている。

総合評価	A
-------------	----------

成果

生涯学習の振興を図るため、幅広いテーマで講座を企画・開催できた。
平成26年度は、特に、日頃公民館を利用することが難しい方に講座に参加いただけるよう、フラワーアレンジメントや英会話の教室など4つの講座を夜間に開催した。また、26年度中に開催した講座から12のサークルが立ち上がり、生涯学習活動を支援することができた。

課題

利用者の高齢化により、サークルの解散や公民館まつりの会場設営等が負担になることが危惧される。また、利用団体の意識が高いため、公民館まつりへの参加団体数・出品数が年々増加しており、事前の調整や展示の配置等が難しくなっている。今後は、参加団体と一層協力し合って開催していく必要があると思われる。